

# 楓の森アップデート

学校教育目標：夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成



合志市立合志楓の森小学校  
学校だより 第14号

令和5年(2023年)12月5日  
文責 校長 佐藤 政臣

## 人権月間についてパート②

### 自分を大切にするとともに周りの人(家族や友達等)を大切に

本日からの1週間(12/4~12/10)は、法務省が定める人権週間になります。

人権教育は、子どもたちが実際の場面において、「① 自他の人権を守る行動をとれること」、「② 知っているだけでなく、行動できるようになること」を目指しています。人権教育は、すべての教育活動の基盤となるものです。

そこで、この人権月間(11/13-12/15)を通して、「自分を大切にするとともに周りの人を大切にすること」を意識し、自分事として深く考えてほしいと思います。



### 相手を大切にするコミュニケーション① ~相手の話をしっかり聴くこと~

前期の校長講話で、「人の話をしっかりと聴くことが、相手を大切にしていることです」というお話をしました。

本校では、「発表している人におへそを向けて聴くこと」を徹底しています。話をする人は、聴いて欲しいという思いで話をするわけですから、それをきちんと受け止めることが大切になります。せっかく勇気を出して話をしてもだれも聴いてくれないというクラスでは、人を大切にしているとは言えません。

では、ご家庭ではいかがでしょうか。お子様のお話をしっかり聴かれていますでしょうか。安心して生活できる環境や「自分の思いを受け止めてもらった、自分を見てくれている」など、自分が大切にされているという感覚や経験は、自尊感情を育むことにつながります。

以下の例は、相手が聴いてくれてよかったと思える聴き方です。

#### 【聴くことの例】

○うなずいたり、あいづちをうったり「うん、うん」「それで~」「なるほど」相手に自分は受け入れられていると感じます。

○キーワードを繰り返す「○○なのね」「△△



なの？」相手に共感してもらえているという安心感を与え、自己肯定感も高まります。  
○質問してみる「その時どうだったの?」「それで?」話している方は、興味をもって聴いてもらっていると感じます。

### 相手を大切にするコミュニケーション② ~相手を大切に思う言葉がけ~

「バカ」、「死ぬ」などの言葉をケンカした時などに使ってしまったという子がいます。言葉は、使い方によっては「暴力」にもなります。

では、相手が元気になるような言葉がけとはどのような言葉がけでしょうか。

以下の例は、相手が元気になる言葉がけです。ご家庭でもいかがでしょうか。

#### 【言葉がけの例】

##### ○結果よりもプロセス重視

「これまで、本当にがんばってきてよかったね。」結果もこれまでのがんばりも、どちらも認めてもらったといううれしさを感じ取れます。

##### ○「あい」メッセージで伝える

「あい」手の気持ちに共感し、「I(わたし)」の気持ちを伝えましょう。「よかったね。やったね。わたしもうれしいよ。」「あなたが楽しそうだとわたしも楽しい。」



プロセス重視の評価、「あい」メッセージ(よかった!先生もうれしい等)は、教師の言葉がけの基本として先輩教師から教えられてきました。

このようなコミュニケーションができることで、相手は、自分が大切にされていることを認知することができ、自尊感情も高まっていきます。相手の気持ちに寄り添って接していくことがコミュニケーションの基本です。

次号は、「人権月間についてパート③」として、「縦割り人権集会」についてお知らせします。

参考文献：小山市教育委員会家庭向け人権啓発誌「ほほえみ」

学校行事や子どもたちの学習の様子につきましては毎日ホームページを更新していますので、ご覧下さい  
<https://es.higo.ed.jp/kaedenomori/>

楓の森小HP

